

製品名: PTGR2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16645**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	PTGR2
別名	PTGR2; ZADH1; Prostaglandin reductase 2; PRG-2; 15-oxoprostaglandin 13-reductase; Zinc-binding alcohol dehydrogenase domain-containing protein 1
遺伝子 ID	145482.0
SwissProt ID	Q8N8N7
免疫原	抗血清はヒト ZADH1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

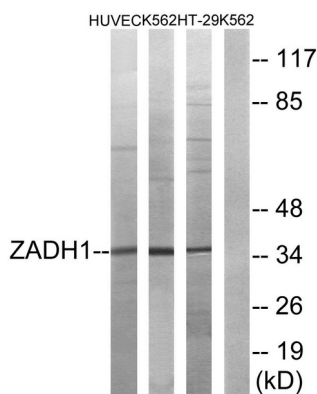
この遺伝子は、プロスタグランジンの代謝に関与する酵素をコードしています。コードされているタンパク質は、NADPH 依存的に

15-ケト-プロスタグランジン E2 から 15-ケト-13,14-ジヒドロ-プロスタグランジン E2 への変換を触媒します。このタンパク質は、ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 (PPR) の活性化制御にも関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2009 年 4 月]、触媒活性:11-アルファ-ヒドロキシ-9,15-ジオキソプロスト-5-エノエート + NAD(P)(+) = (5Z)-(13E)-11-アルファ-ヒドロキシ-9,15-ジオキソプロスタ-5,13-ジエノエート + NAD(P)H、補因子:NADPH、機能:15-オキソ-プロスタグランジン 13-還元酵素として機能し、15-ケト-PGE1、15-ケト-PGE2、15-ケト-PGE1-アルファおよび 15-ケト-PGE2-アルファに作用し、15-ケト-PGE2 に対する活性が最も高い。過剰発現は PPARG の転写活性を抑制し、脂肪細胞の分化を阻害する。類似性:NADP 依存性酸化還元酵素 L4BD ファミリーに属する。サブユニット:モノマー。組織特異性:広く発現している。

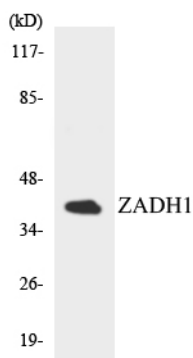
研究分野

細胞生物学、その他の抗体、酸化ストレス、代謝、経路とプロセス、酸化還元代謝

画像データ



K562 細胞、HUVEC 細胞、HT-29 細胞のライセートを ZADH1 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ZADH1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

PTGR2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析

